組立・施工説明書

Daisen フェンス皿 No. XAAAA-K25-575B1 02 25-6月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「フェンスⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。 誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。 作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。 お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

• 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然 に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記 をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行って ください。

警告/注意/お願い

表記	意味
企警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
企注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的 損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には 至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、 操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表記	意味	表記	意味
【意约	商品や作業の変更点	シーリング材	必ずシーリングをする箇所
5177 1	作業するうえで必要な情報	離 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	電動ドライバーの使用禁止
Line Control of the C	知っておくと便利な情報	電気工事	電気工事士の資格が必要な 作業

• 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 警告

• 本商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした 一般住宅地外構用のため、高低差のある境界 やベランダ、廊下、屋上など転落の起きるお それのある場所には、使用しないでください。 誤った使用は、転落や墜落および思わぬけが や事故につながるおそれがあります。



企注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでくだ
- 性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 取り付け方向、設置場所に指定がある場合は指定に従って取り付けてく ださい。
- 性能低下および思わぬ事故やけがの原因となります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。 異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、 商品の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。 締め付け不良は商品の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるお それがあります。

⚠ 注 意

- 商品が破損、変形およびキズがつかないよう、取り扱いには十分注意し てください。
- 破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるお それがあります。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しない でください。
- 排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。

お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けないでください。 商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。 ブロックおよび商品の倒壊や破損、思わぬ事故やけがにつながるおそれ があります。
- 商品表面にキズがつかないよう、取り扱いには十分注意してください。 キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用してください。 酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につなが るおそれがあります。
- 塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)を使用し た場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。 表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



- ・作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具(保護帽、安 全帯、目・耳・手・足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってく ださい。
 - 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環 境の確保を行ってください。
 - 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な 措置を行ってください。
 - 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
 - 商品の保管は、必ず室内でしてください、やむを得ず屋外に置く場 合は湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして防水シートをかけ てください。
 - 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

同梱一覧

■フェンス本体 HFE-(DS)V-T2-20##

姿 図	-		
品名	フェンス本体	上下胴縁連結具	小トラスタッピンねじ 1種(φ4×10)
品 番	_	3K-33617	AM-4010
個 数	1	2	4

■自由柱 HFE-(DS)V-PFA1-##、HFE-(DS)V-PFB1-10

姿 図	A		
品名	自由柱	上部固定金具	中トラスタッピンねじ 2種(φ4×25)
品 番	_	7K-11681	BM-4025GD8
個 数	1	1	1

■コーナー継手 HFE-(DS)V-BC1

姿 図			OF THE PARTY
品名	コーナー継手	ヒレ付きキャップ	なベドリルねじ (<i>φ</i> 4×13)
品 番	3K-32643	3K30327-C	DN-4013
個 数	2	4	4

■格子付きコーナー継手 HFE-(DS)V-BC2-##

姿 図			E MAR
品名	格子付き コーナー継手	ヒレ付きキャップ	なベドリルねじ (ø4×13)
品番	_	3K30327-C	DN-4013
個 数	1	4	4

■エンドキャップ HFE-(DS)V-BE1

姿 図				_
品名	上胴縁キャップ	下胴縁キャップ	小トラスタッピンねじ 1種(φ4×10)	組立・施工 説明書
品 番	3K-33479	3K-32642	AM-4010	_
個 数	2	2	4	1

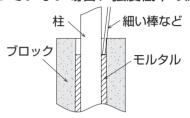
柱の施工

注意

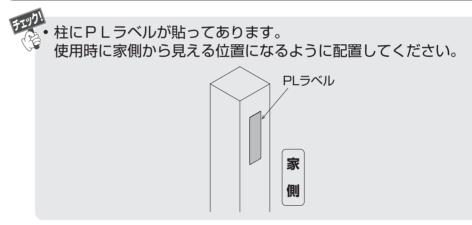
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
- 商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の 異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。

お願い

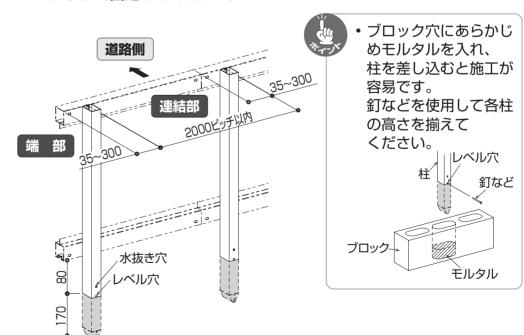
- コンクリートやモルタルなどが商品の表面に付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- 外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリートやモルタルが固まる前に行ってください。 固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- ・柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 細い棒などで突き固めながらモルタルを充てんしてください。モルタルが強固になっていない場合、強度低下の原因となります。



- ・柱の埋め込み部分先端の小口キャップは取りはずさないでください。 柱内部に侵入したモルタルによって、柱が腐食膨張するおそれがあり、 ブロック割れの原因となります。
- 柱内部の発泡スチロールを抜き取らないでください。 柱内に浸入した水が凍結して膨張した場合、ブロックが割れたり、柱が 破損したりするおそれがあります。



- 柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認してください。 (一8一「寸法図」参照)
- **2** モルタルで固定してください。



フェンス本体の連結



フェンスの切り詰めが必要な場合

(-7-「フェンスの切り詰め方法」参照)

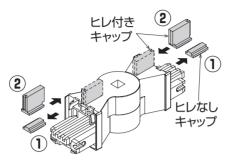
■ コーナー継手、格子付きコーナー継手と連結する場合



する場合

ヒレなし胴縁のフェンスを取り付ける側は ヒレ付きキャップへの付け替えは不要です。

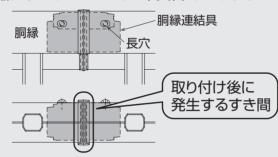
- (1) (格子付き) コーナー継手のヒレなしキャップをマイナスドライバー などで取りはずしてください。
- (2)ヒレ付きキャップを(格子付き)コーナー継手に取り付けてくださ い。



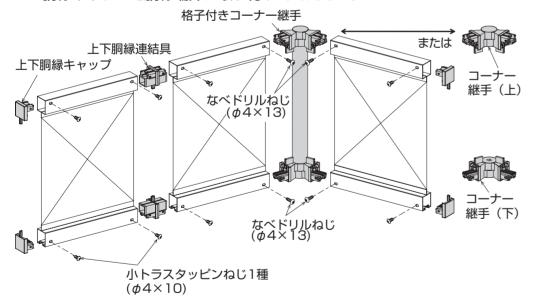
2 胴縁連結具、(格子付き)コーナー継手でフェンス本体を連結してくださ い。



- (格子付き) コーナー継手をドリルねじで取り付ける場合、 最後のねじの締め付けは手締めで行ってください。 インパクトドライバーなどで締め付け過ぎるとねじ穴が破損しま す。
- 胴縁には長穴が設けられ、熱伸縮を吸収する構造となっていま す。胴縁連結具を挿入すると長穴の中心にねじ穴が配置されるの で、その位置でねじ留めしてください。取り付け後に発生する隙 間は熱伸縮クリアランスのため不具合ではありません。



3 胴縁キャップを胴縁端部に取り付けてください。



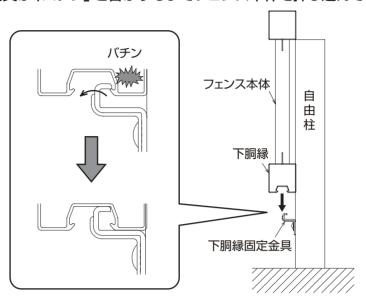
フェンス本体の取り付け



フェンス本体をスライドさせる場合は、少し持ち上げて動かして ください。



- フェンス本体の位置決めをしてください。
- 2 固定金具が「バチン」と音がするまでフェンス本体を押し込んでください。

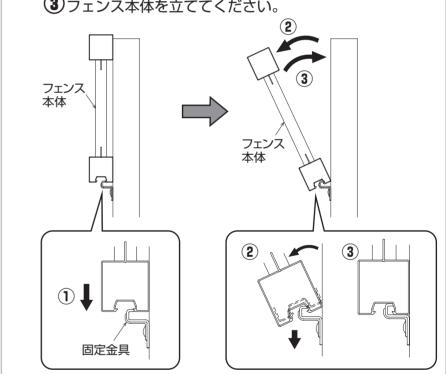




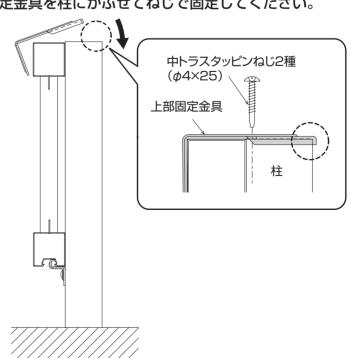
フェンス本体が押し込みにくい場合

-旦フェンス本体を手前に傾けると、フェンス本体の自重で 固定金具にかかり、施工が容易になります。

- (1)フェンス本体を固定金具に置いてください。
- **2**フェンス本体を手前に傾けてください。
- **③**フェンス本体を立ててください。



3 上部固定金具を柱にかぶせてねじで固定してください。

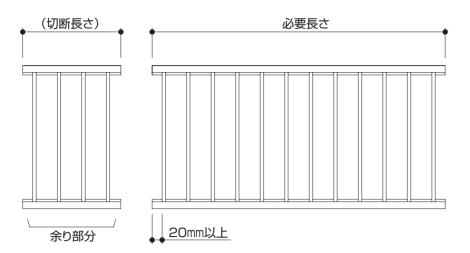


フェンスの切り詰め方法

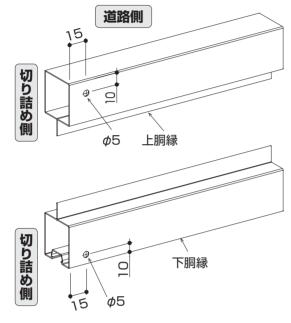
▮ 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。



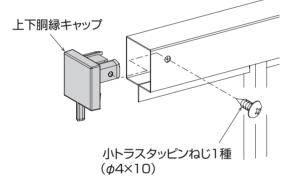
・端部は、20mm以上確保してください。



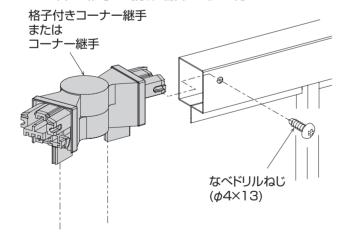
2切り詰め側の上下胴縁に穴加工(ϕ 5)してください。



3 胴縁キャップを胴縁端部に取り付けてください。



4 コーナー部の継手を胴縁端部に取り付けてください。



-7-



- 端部、連結部からの柱位置は、35~300mmの範囲で施工してく ださい。(連結部に柱は立てられません。)
 - 柱ピッチは、2000以下で施工してください。 柱は、フェンス本体1枚に最低1本必要です。
 - コーナー端部からの柱位置は、35~300mmの範囲で、 それぞれのフェンスに各1本施工してください。

